

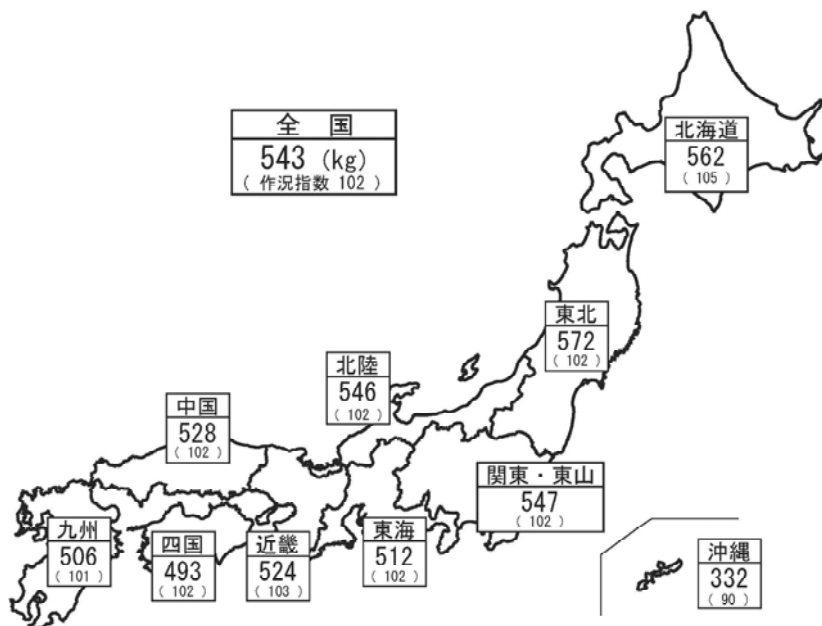
平成25年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

－ 水稻の10a 当たり予想収量は543kg（作況指数102）の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 平成25年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は164万7,000haで、うち主食用作付見込面積は152万2,000haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、生育期間を通じて全般的におおむね天候に恵まれたため、全もみ数が総じてやや多いないし平年並みとなり、登熟もおおむね順調に推移していることから、全国の10a 当たり予想収量は543kg（作況指数102）が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は824万5,000tが見込まれる。

図1 全国農業地域別10a 当たり予想収量（9月15日現在）



注：沖縄の10a 当たり予想収量及び作況指数は第一期稲である。

- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率である。
- この作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。なお、9月16日に本州に上陸した台風第18号による影響は、現段階で把握できる被害について見込んでいる。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 水稲調査結果の利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産数量目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料 等

◎ 累年データ

水稲の年次別推移（全国）

	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10a当たり 収 量	10a当たり 平年収量	作況指数	収 穫 量 (子 実 用)	参 考	
	うち、子実用						主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)
	ha	ha	kg	kg		t	ha	t
昭和59年産	2,300,000	2,290,000	517	479	108	11,832,000	…	…
60	2,326,000	2,318,000	501	481	104	11,613,000	…	…
61	2,292,000	2,280,000	508	484	105	11,592,000	…	…
62	2,148,000	2,123,000	498	487	102	10,571,000	…	…
63	2,109,000	2,087,000	474	490	97	9,888,000	…	…
平成元年産	2,093,000	2,076,000	496	492	101	10,297,000	…	…
2	2,071,000	2,055,000	509	494	103	10,463,000	…	…
3	2,046,000	2,033,000	470	497	95	9,565,000	…	…
4	2,099,000	2,092,000	504	498	101	10,546,000	…	…
5	2,131,000	2,127,000	367	499	74	7,811,000	…	…
6	2,201,000	2,200,000	544	499	109	11,961,000	…	…
7	2,110,000	2,106,000	509	501	102	10,724,000	…	…
8	1,980,000	1,967,000	525	502	105	10,328,000	…	…
9	1,950,000	1,944,000	515	504	102	10,004,000	…	…
10	1,800,000	1,793,000	499	507	98	8,939,000	…	…
11	1,786,000	1,780,000	515	512	101	9,159,000	…	…
12	1,768,000	1,763,000	537	518	104	9,472,000	…	…
13	1,711,000	1,700,000	532	518	103	9,048,000	…	…
14	1,693,000	1,683,000	527	522	101	8,876,000	…	…
15	1,670,000	1,660,000	469	524	90	7,779,000	…	…
16	1,704,000	1,697,000	514	525	98	8,721,000	…	…
17	1,709,000	1,702,000	532	527	101	9,062,000	…	…
18	1,692,000	1,684,000	507	529	96	8,546,000	…	…
19	1,678,000	1,669,000	522	529	99	8,705,000	…	…
20	1,637,000	1,624,000	543	530	102	8,815,000	1,596,000	8,658,000
21	1,637,000	1,621,000	522	530	98	8,466,000	1,592,000	8,309,000
22	1,657,000	1,625,000	522	530	98	8,478,000	1,580,000	8,239,000
23	1,632,000	1,574,000	533	530	101	8,397,000	1,526,000	8,133,000
24	1,641,000	1,579,000	540	530	102	8,519,000	1,524,000	8,210,000
25（見込み）	1,647,000	…	543	530	102	…	1,522,000	8,245,000

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。

3 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

【調査結果】

1 平成25年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は164万7,000haで、前年産に比べて6,000haの増加が見込まれる。

なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は152万2,000haで、前年産に比べて2,000haの減少が見込まれる。

2 9月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道では、全もみ数はやや少なかったものの、登熟が7月以降の好天で平年を上回って推移していることから、10a当たり予想収量は562kg（作況指数105）が見込まれる。

東北では、7月に日照が平年を下回った以外はおおむね天候に恵まれ、全もみ数が総じてやや多く、登熟も順調に推移していることから、10a当たり予想収量は572kg（同102）が見込まれる。

関東以西では、6月や8月下旬から9月上旬にかけて日照が平年を下回った以外はおおむね天候に恵まれ、全もみ数が総じてやや多いないし平年並みとなり、登熟もおおむね順調に推移していることから、北陸は10a当たり予想収量は546kg（同102）、関東・東山は547kg（同102）、東海は512kg（同102）、近畿は524kg（同103）、中国は528kg（同102）、四国は493kg（同102）、九州は506kg（同101）が見込まれる。

この結果、全国の10a当たり予想収量は543kg（同102）が見込まれる。

3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は824万5,000tが見込まれる。

表 平成25年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a当たり予想収量（作況指数）
（全国農業地域別）

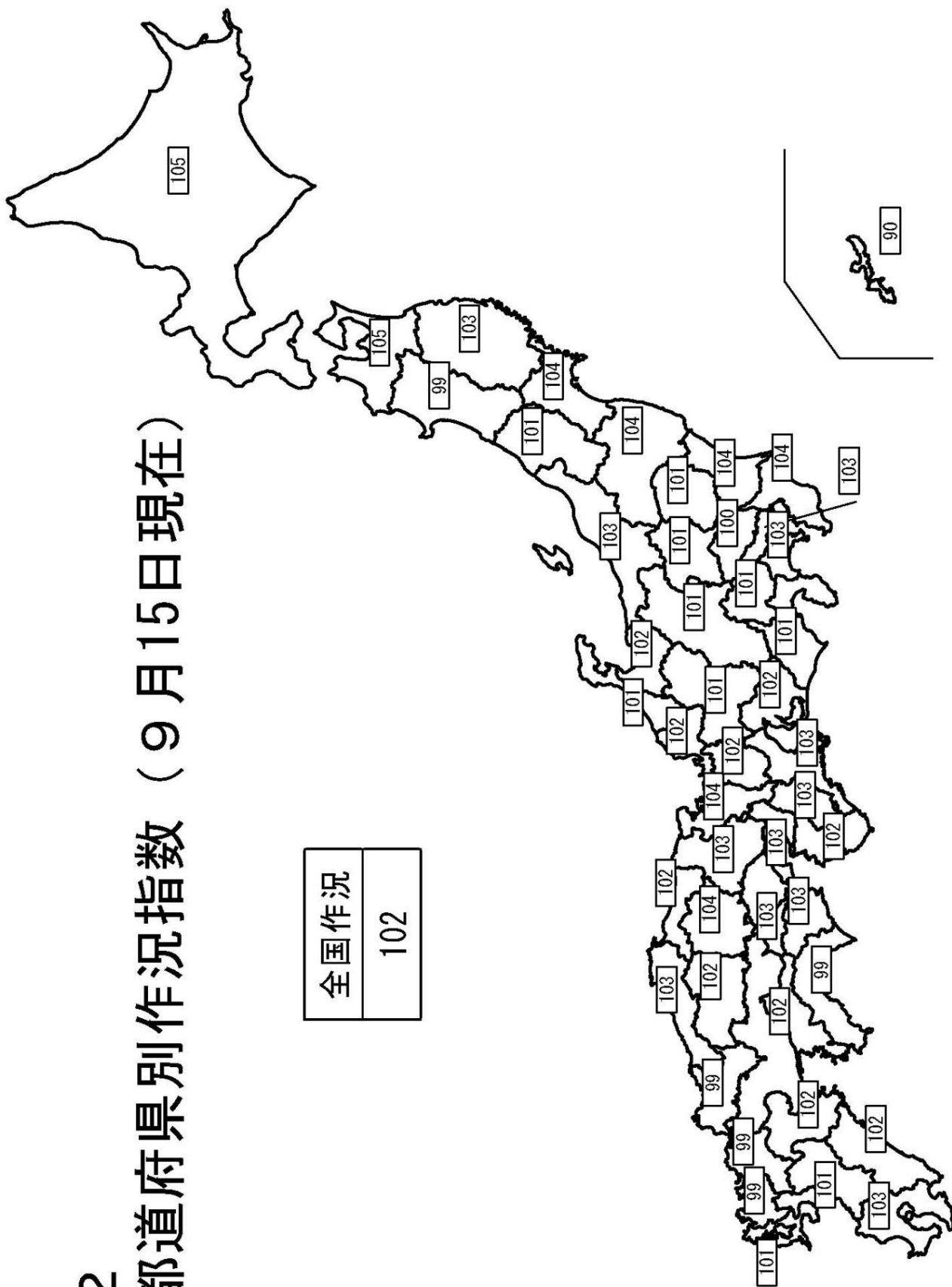
全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量	10a当たり 平年収量	作況指数 ③=①/②	参 考	
	実 数	前年産との比較					主食用作付 見込面積 ④	予想収穫量 （主食用） ⑤=①×④
		対 差	対 比					
	ha	ha	%	kg	kg		ha	t
全 国	1,647,000	6,000	100	543	530	102	1,522,000	8,245,000
北 海 道	112,900	△ 300	100	562	535	105	107,000	601,300
東 北	419,000	5,200	101	572	559	102	376,200	2,151,000
北 陸	215,100	1,700	101	546	533	102	194,000	1,060,000
関 東・東 山	306,200	300	100	547	534	102	287,200	1,571,000
東 海	105,200	△ 200	100	512	503	102	100,200	513,300
近 畿	110,600	△ 100	100	524	509	103	106,900	560,000
中 国	118,000	△ 200	100	528	517	102	112,800	596,300
四 国	57,200	0	100	493	484	102	55,700	274,400
九 州	201,800	100	100	506	503	101	180,900	915,700
沖 縄	884	△ 43	95	…	309	…	880	2,720

注：1 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

2 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

3 沖縄県の10a当たり予想収量及び作況指数は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、予想収穫量（主食用）の算出には10a当たり平年収量を用いた。

図2 都道府県別作況指数（9月15日現在）



注：1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。
 2 沖縄県の作況指数は、第一期稲である。

【統計表】

統計表一覧

ページ

- 1 平成25年産水稻の作付面積、10 a 当たり予想収量及び作柄概況(9月15日現在)
・・・・・・・・・・ 6
- 2 平成25年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月15日現在)・・・・・・・・ 8

利用上の注意

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数(下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの

1 平成25年産水稲の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）

全 国 都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a当たり 予想収量 ①	10a当たり 平年収量 ②	作況指数 ③=①/②
	実 数	前 年 産 と の 比 較				
		対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	
全 国 (1)	1,647,000	6,000	100	543	530	102
北 海 道 (2)	112,900	△ 300	100	562	535	105
青 森 (3)	51,600	600	101	611	584	105
岩 手 (4)	57,900	400	101	548	533	103
宮 城 (5)	75,200	1,400	102	551	530	104
秋 田 (6)	94,300	600	101	569	573	99
山 形 (7)	70,600	700	101	602	594	101
福 島 (8)	69,400	1,500	102	561	537	104
茨 城 (9)	77,700	0	100	543	522	104
栃 木 (10)	69,000	600	101	545	540	101
群 馬 (11)	18,500	△ 200	99	501	494	101
埼 玉 (12)	35,800	△ 200	99	490	490	100
千 葉 (13)	62,000	0	100	554	533	104
東 京 (14)	161	0	100	422	411	103
神 奈 川 (15)	3,160	△ 60	98	509	493	103
新 潟 (16)	121,100	1,000	101	556	539	103
富 山 (17)	40,200	400	101	547	537	102
石 川 (18)	27,000	200	101	522	519	101
福 井 (19)	26,900	200	101	527	517	102
山 梨 (20)	5,270	△ 20	100	551	547	101
長 野 (21)	34,600	100	100	631	623	101
岐 阜 (22)	25,600	0	100	492	488	101
静 岡 (23)	17,700	△ 100	99	525	521	101
愛 知 (24)	31,000	△ 100	100	517	507	102
三 重 (25)	30,800	△ 100	100	517	500	103
滋 賀 (26)	33,800	100	100	529	518	102
京 都 (27)	15,600	△ 100	99	532	511	104
大 阪 (28)	5,640	△ 40	99	509	495	103
兵 庫 (29)	38,900	100	100	520	504	103
奈 良 (30)	9,250	△ 50	99	527	513	103
和 歌 山 (31)	7,380	△ 50	99	507	495	102
鳥 取 (32)	14,700	0	100	523	514	102
島 根 (33)	20,000	0	100	526	509	103
岡 山 (34)	33,800	△ 100	100	546	526	104
広 島 (35)	26,200	0	100	536	523	102
山 口 (36)	23,300	0	100	499	504	99
徳 島 (37)	13,600	0	100	490	474	103
早期栽培 (38)	5,350	20	100	468	463	101
普通栽培 (39)	8,240	△ 70	99	504	480	105
香 川 (40)	14,700	100	101	514	499	103
愛 媛 (41)	15,500	0	100	507	498	102
高 知 (42)	13,300	△ 100	99	454	460	99
早期栽培 (43)	7,810	△ 100	99	473	481	98
普通栽培 (44)	5,530	△ 10	100	428	430	100
福 岡 (45)	40,500	200	100	495	499	99
佐 賀 (46)	27,600	100	100	518	525	99
長 崎 (47)	14,100	△ 100	99	484	478	101
熊 本 (48)	44,300	△ 100	100	521	515	101
大 分 (49)	26,000	0	100	511	503	102
宮 崎 (50)	23,800	0	100	505	497	102
早期栽培 (51)	9,470	230	102	476	480	99
普通栽培 (52)	14,300	△ 200	99	527	511	103
鹿 児 島 (53)	25,500	△ 100	100	496	483	103
早期栽培 (54)	6,600	100	102	461	443	104
普通栽培 (55)	18,900	△ 200	99	507	495	102
沖 縄 (56)	884	△ 43	95	…	309	…
第一期稲 (57)	600	△ 3	100	332	370	90
第二期稲 (58)	284	△ 40	88	…	…	…

注：1 沖縄県平均の10a当たり予想収量及び作況指数は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、沖縄県計の予想収量（主食用）の算出には10a当たり平年収量を用いた。

2 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。

平 年 比 較				参 考		
穂数の多少	1 穂 当 た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登熟の良否	主食用作付見込面積 ④	予想収穫量（主食用） ⑤=①×④	
				ha	t	
...	1,522,000	8,245,000	(1)
平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	107,000	601,300	(2)
平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	44,600	272,500	(3)
やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み	53,100	291,000	(4)
やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み	70,500	388,500	(5)
やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	78,800	448,400	(6)
やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	63,500	382,300	(7)
やや多い	やや多い	やや多い	平年並み	65,700	368,600	(8)
平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	73,600	399,600	(9)
やや少ない	やや多い	やや多い	平年並み	61,000	332,500	(10)
やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	16,500	82,700	(11)
平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	34,500	169,100	(12)
平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	59,400	329,100	(13)
多 い	平年並み	多 い	やや不良	161	679	(14)
平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	3,150	16,000	(15)
平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	107,100	595,500	(16)
平年並み	平年並み	平年並み	やや良	36,300	198,600	(17)
平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	25,000	130,500	(18)
平年並み	平年並み	平年並み	やや良	25,600	134,900	(19)
やや多い	平年並み	平年並み	平年並み	5,210	28,700	(20)
平年並み	平年並み	平年並み	やや良	33,700	212,600	(21)
平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	24,300	119,600	(22)
やや少ない	平年並み	平年並み	やや良	16,900	88,700	(23)
やや多い	やや少ない	平年並み	やや良	29,500	152,500	(24)
平年並み	やや多い	平年並み	やや良	29,500	152,500	(25)
やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	32,000	169,300	(26)
やや多い	やや多い	やや多い	平年並み	15,300	81,400	(27)
やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	5,630	28,700	(28)
やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	37,500	195,000	(29)
多 い	やや少ない	やや多い	平年並み	9,150	48,200	(30)
平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	7,380	37,400	(31)
やや多い	やや多い	多 い	やや不良	13,800	72,200	(32)
平年並み	多 い	やや多い	やや不良	18,800	98,900	(33)
やや多い	やや多い	多 い	やや不良	32,000	174,700	(34)
平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	25,500	136,700	(35)
平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	22,800	113,800	(36)
...	13,100	64,200	(37)
少 ない	やや多い	やや少ない	やや良	(38)
平年並み	やや多い	やや多い	やや良	(39)
やや多い	やや多い	多 い	やや不良	14,500	74,500	(40)
やや多い	やや多い	やや多い	やや不良	15,200	77,100	(41)
...	12,900	58,600	(42)
少 ない	やや多い	少 ない	やや良	(43)
平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	(44)
平年並み	平年並み	平年並み	やや不良	38,100	188,600	(45)
やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	26,400	136,800	(46)
やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	13,500	65,300	(47)
平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	37,500	195,400	(48)
やや多い	やや少ない	平年並み	平年並み	23,700	121,100	(49)
...	18,700	94,400	(50)
やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	(51)
多 い	平年並み	やや多い	やや不良	(52)
...	23,000	114,100	(53)
少 ない	多 い	やや少ない	良	(54)
やや多い	平年並み	平年並み	平年並み	(55)
...	880	2,720	(56)
平年並み	やや少ない	やや少ない	やや不良	(57)
...	(58)

3 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期・普通期別等の主食用作付見込面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別等に行っており県平均を取りまとめていないため、「…」で示している。

2 平成25年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月15日現在）

都道府県	出穂期					刈取済面積割合
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		
				対平年差	対前年差	
月 日	月 日	月 日			%	
北海道	7. 23	7. 28	8. 4	4日早	4日早	15
青森	8. 3	8. 6	8. 11	1日早	2日早	1
岩手	8. 4	8. 8	8. 14	1日遅	1日遅	1
宮城	8. 3	8. 6	8. 14	並み	並み	1
秋田	8. 1	8. 4	8. 11	2日早	1日早	0
山形	8. 3	8. 7	8. 14	1日早	並み	2
福島	8. 3	8. 10	8. 16	2日早	1日早	0
茨城	7. 19	7. 31	8. 11	3日早	3日早	69
栃木	7. 26	8. 2	8. 16	3日早	2日早	32
群馬	8. 9	8. 20	8. 28	2日早	並み	2
埼玉	7. 24	8. 11	8. 28	2日早	2日早	34
千葉	7. 15	7. 24	8. 3	4日早	3日早	96
東京	8. 8	8. 13	8. 25	3日早	5日早	1
神奈川	8. 3	8. 12	8. 18	1日早	2日早	16
新潟	7. 26	8. 6	8. 13	2日早	1日早	34
富山	7. 16	7. 31	8. 9	5日早	3日早	60
石川	7. 17	7. 29	8. 8	4日早	2日早	71
福井	7. 12	8. 2	8. 12	並み	1日早	82
山梨	8. 2	8. 9	8. 22	4日早	3日早	20
長野	7. 30	8. 7	8. 14	2日早	1日早	18
岐阜	7. 21	8. 18	9. 1	2日早	2日早	26
静岡	7. 18	8. 9	8. 27	3日早	4日早	44
愛知	7. 22	8. 16	9. 1	2日早	3日早	31
三重	7. 16	7. 22	8. 10	4日早	6日早	92
滋賀	7. 27	8. 1	8. 16	3日早	5日早	54
京都	7. 25	8. 3	8. 18	4日早	2日早	47
大阪	8. 3	8. 22	8. 30	1日早	1日早	7
兵庫	7. 29	8. 12	8. 28	1日早	2日早	33
奈良	7. 30	8. 22	8. 28	1日早	1日早	12
和歌山	7. 19	8. 7	8. 23	1日早	2日早	42
鳥取	7. 26	8. 4	8. 19	4日早	2日早	25
島根	7. 20	8. 1	8. 16	4日早	2日早	50
岡山	7. 23	8. 17	9. 2	2日早	1日早	24
広島	7. 22	8. 5	8. 22	5日早	3日早	39
山口	7. 29	8. 8	8. 25	2日早	並み	43
徳島 早期栽培	7. 8	7. 16	7. 25	1日早	2日早	100
普通栽培	7. 18	7. 30	8. 28	3日早	2日早	66
香川	7. 20	8. 20	9. 2	1日早	1日早	35
愛媛	7. 16	8. 12	9. 1	2日早	2日早	43
高知 早期栽培	6. 30	7. 8	7. 17	並み	並み	100
普通栽培	8. 10	8. 16	8. 26	4日早	4日早	2
福岡	8. 1	8. 20	9. 3	4日早	3日早	23
佐賀	7. 20	8. 26	9. 10	1日早	2日早	9
長崎	7. 18	8. 25	9. 4	1日早	1日早	14
熊本	7. 10	8. 20	9. 5	1日早	1日早	13
大分	7. 29	8. 23	9. 2	3日早	4日早	4
宮崎 早期栽培	6. 21	6. 26	7. 3	2日早	1日早	100
普通栽培	8. 16	8. 22	9. 1	3日早	4日早	0
鹿児島 早期栽培	6. 21	6. 26	7. 8	3日早	3日早	100
普通栽培	8. 19	8. 25	9. 3	2日早	2日早	0
沖縄 第一期稲	5. 4	5. 21	6. 9	並み	6日早	100

注：出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲作付面積調査及び水稲作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

3 調査対象数

(1) 作付面積調査

標本単位区：39,368単位区 巡回・見積り：1,720市町村

(2) 作柄概況調査

作況標本筆調査：10,248筆 作況基準筆調査：676筆 巡回・見積り：1,720市町村

4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

6 調査方法

(1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

(2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

(1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。

(2) 作柄概況調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

(1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指す。

(2) 「穂数の多少」とは、1㎡あたりに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

- (3) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (6) 前述の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり穂数等）の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- (7) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- (8) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 その他

本調査における作柄概況（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3681

(直通) 03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682

(直通) 03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



平成25年11月1日現在で、2013年漁業センサスを実施します。
(流通加工調査については平成26年1月1日現在)